

正しいビンディング調整で安全に、楽しくスキー!!

- こんな場合は、ビンディングの解放値を算出し直し、ブーツに合わせた調整が必要です。
- ブーツを買い替えた
 - 友人からスキーをもらった
 - 家族でレンタルスキーを使いたい



スキー用品の取付け・調整は、ご自分で行うと事故の原因になる場合があります。



ビンディングの取付け・調整は、国際規格S-B-Bシステムの認定証取得・販売店/レンタル店へ。

ビンディングの取付け・調整は国際規格ISO 11088：スキー／ビンディング／ブーツ（S-B-Bシステム）の組み立て・調整に準拠して行われなければなりません。（日本でも1997年にJIS S 7028として規格化）

各ビンディングメーカーは、この国際規格ISO 11088に準拠した講習会を開催し、受講された販売店/レンタルショップなどに認定証を発行しています。

安全で快適にスキーを楽しむためにも、新規で用具を購入される場合や、購入の後に使用する用具やスキーヤーがかわる場合などでも、ビンディングの調整はご自分で行わずに講習会を受講された販売店/レンタルショップなどで行うことを強く推奨します。

私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
JSp 日本スキー産業振興協会

<後援>公益財団法人 全日本スキー連盟
 公益社団法人 日本プロスキー教師協会
 一般財団法人 日本鋼索交通協会/全国スキー安全対策協議会

プラスチック素材使用 スキーブーツの「経年劣化」にご注意!!

私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
JSp 日本スキー産業振興協会

<後援>公益財団法人 全日本スキー連盟
 公益社団法人 日本プロスキー教師協会
 一般財団法人 日本鋼索交通協会/全国スキー安全対策協議会

スキーの前は安全のため、簡単にできる「経年劣化」チェックをお忘れなく!

下記のチェック項目の中で、ひとつでも異常があった場合には使用しないでください。（使用されているプラスチック素材により、異なる場合があります。）

「経年劣化」チェック①
 スキーブーツ本体・部品の表皮にヒビが生じていないかをチェック

「経年劣化」チェック②
 本体・部品の表皮に白濁、光沢に著しい衰退がないかをチェック

「経年劣化」チェック③
 ご使用前に自宅で履いてスキー動作を数回繰り返し異常がないかをチェック

製造から5年程度で、強度が低下する場合があります。

スキーブーツには、機能性を考慮しプラスチックが本体や部品に多く使用されていますが、その強度は、年月とともに徐々に低下（経年劣化）し、破損に至ることがあります。このめやすは、使用されている素材により異なりますが、製造から5年程度、ご使用には、充分ご注意ください。

私たちは、「安全で楽しいスキーライフ」のために、日頃からのご注意と正しいメンテナンスをお願いしています。

ご使用上の注意

- ご使用前には、ブーツ本体・バックル等に異常がないか点検してください。
- 高温の場所に置くと変形したり、素材の劣化を早める場合があります。乾かす際は、ストーブやストーブ等の高温場所に近づけないでください。

メンテナンスの方法

- 汚れは水に濡した布や柔らかいスポンジで拭き取ってください。
- 汚れ落としに、ベンジンやシンナー等の溶剤を使用しないでください。
- シェルとインナーブーツはそれぞれ直射日光を避けて、風通しのよい場所で充分に乾燥させてください。
- 日の当たらない場所に保管してください。この場合、ビニール袋などでブーツを密封しないでください。

スキー、ビンディング、スキーブーツの取り扱いに関するお願い。

- ご使用前にそれぞれシステムのシステムをよく点検し、異常を見つけた場合は使用を中止し、販売店などにご相談ください。
- 取扱説明書をよくご覧の上、ご使用上の注意やメンテナンスの方法をお守りください。
- ご不明な点は、販売店やメーカーにお尋ねください。

私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
JSp 日本スキー産業振興協会

<後援>公益財団法人 全日本スキー連盟
 公益社団法人 日本プロスキー教師協会
 一般財団法人 日本鋼索交通協会/全国スキー安全対策協議会

ヘルメットはあなたのヘルメットを守ります。スキーライフを

ヘルメットをかぶっていたことで、ヘルメットが身代わりとなって、重大な事故には至らなかった事例です。安心・安全 お洒落にスキーを楽しむために、ヘルメットは必須アイテムです。

私はこれで助かりました。

私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
JSp 日本スキー産業振興協会

<後援>公益財団法人 全日本スキー連盟
 公益社団法人 日本プロスキー教師協会
 一般財団法人 日本鋼索交通協会/全国スキー安全対策協議会

●ご使用上の注意：ヘルメットは構造上、衝撃を受けると外部および内部が破損することにより衝撃を吸収します。滑走時の転倒、衝突はもちろん、ヘルメットを単体で落としたり、過度の力が加わった場合などでも破損・変形する場合があります。内部の損傷は表側からは分からない場合もありますので、一度衝撃を受けたヘルメットの再使用はお避けください。また経年変化が発生する場合がありますので、使用目安期間を過ぎたら、買い換えをお勧めします。詳しくは各メーカーの取扱説明書をご覧ください。

そのヘルメット、安全ですか？ヘルメットは経年劣化が起こります。

あなたのヘルメットの **安全チェック** をしてみましょう。3～5年を目安に新しいものととの交換をお勧めします。

Check!

- ヘルメットに凸凹やひび割れがありませんか？**
 ▶▶▶ いざ衝撃が加わった場合に、うまく衝撃を分散することができません。
- アウターシェルとライナー（衝撃緩衝材）に隙間がありませんか？**
 ▶▶▶ ヘルメットが本来持つ衝撃緩衝性能が極端に低下しています。
- アウターシェルやパーツが色あせていませんか？**
 ▶▶▶ 構成部品の経年劣化が進行しており、ヘルメット本来の性能を発揮できません。
- ストラップ（あごひも）がほつれていませんか？**
 ▶▶▶ いざという時にヘルメットが脱げしまい、重大な障害事故につながります。

私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
JSp 日本スキー産業振興協会

<後援>公益財団法人 全日本スキー連盟
 公益社団法人 日本プロスキー教師協会
 一般財団法人 日本鋼索交通協会/全国スキー安全対策協議会

●ご使用上の注意：ヘルメットは構造上、衝撃を受けると外部および内部が破損することにより衝撃を吸収します。滑走時の転倒、衝突はもちろん、ヘルメットを単体で落としたり、過度の力が加わった場合などでも破損・変形する場合があります。内部の損傷は表側からは分からない場合もありますので、一度衝撃を受けたヘルメットの再使用はお避けください。また経年変化が発生する場合がありますので、使用目安期間を過ぎたら、買い換えをお勧めします。詳しくは各メーカーの取扱説明書をご覧ください。



安全にスノースポーツを楽しむためには、プロテクターはお勧めのアイテム。

より安心・安全にスノースポーツを楽しむためのプロテクター。欧米ではレーサーだけでなく、一般の方々も多く使用しています。

ハードに滑るアスリートだけではなく、レジャーとしてスノースポーツを楽しみたい方にもプロテクターはお勧めのアイテムです。スキーやスノーボードには「ブレーキ」が付いていないので急に止まれません。自身のコントロールミスによる転倒だけでなく、不意な衝突事故による衝撃から身を守るためにも是非装着してほしいアイテムです。ジュニアからシニアまで安心・安全なスノースポーツを楽しみましょう。スイスでは、ケガをしてから、安全意識が高まった人の割合が多いという調査結果が、雪上での衝撃は甘く見られません。

プロテクターは、軽くて身体にフィットして、とても動きやすいものが様々に開発されています。

WEAR YOUR SAFETY & COURAGE.



プロテクターの主な種類 SAFETY ITEMS



私たちは、安全で楽しいスキーライフを応援しています。
JSp 日本スキー産業振興協会

<後援>公益財団法人 全日本スキー連盟
 公益社団法人 日本プロスキー教師協会
 一般財団法人 日本鋼索交通協会/全国スキー安全対策協議会